

藤沢JC

[神奈川]

会員増加で例会の会場探しが悩みの種 親睦を深め地域にとって必要な存在に



昨年行われた30周年記念式典。あいさつをする三堀会長



記念式典では多くの来賓、参加者を迎えた



大懇親会は大いに盛り上がった



藤沢

JCOB会は、会員相互の交流と現役支援をモットーに設立され今年で31年目を迎え、会員数も200名に達しました。会員は藤沢JCの会員であった者が入金および年会費を支払い、任意で加入することができません。現役の会員数が減少傾向にある中、OB会会員は毎年増加し、現役の約3倍になっております。毎月第3木曜日に例会を開催し、約50%の会員が出席しております。例会の内容は、さすがに現役のようなわけにはいかず、おいしい料理とお酒を満喫しながらの懇親例会ですが、会員相互の親睦を深めるとともに情報交換の場としても役立てていただいております。

例会の設営に関しては、30名の理事が月別に担当を決め、毎月第1木曜日の理事会にて協議を重ね、例会に参加される会員の皆様が喜んでいただけるような設営を心がけております。しかしながら、最近では、100名近い人数を収容できる飲食店も限られているため、会員数増加に伴い例会会場探しが悩みの種となっております。

昨年は30周年という節目の年であったため、記念事業、記念式典および大懇親会を実施いたしました。

記念事業では、近隣LOMシニア会の皆様や地域のさまざまな団体の方々のご協力の下、300名にわたる大ゴルフ大会を開催することができま

した。参加された方々より、「すごい大会ですね」「最近こんな大会は見たことがない」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。

また、記念式典および大懇親会は、藤沢JC発祥の地である江ノ島ヨットハーバーにて行い、来賓の方を含め約200名の参加者で大いに盛り上がりました。

このような活動をしながら、これから40周年、50周年に向けて、理事会一同、より一層努力し、地域にとって必要な存在となっていきたいと考えております。

藤沢青年会議所OB会

2006年度会長 高村好幸